

平成27年度 多摩区地域課題対応事業 実施結果

I 安全・安心まちづくり事業費

予算額 5,153,000円

決算額 4,896,312円

事業名【担当課】	事業概要	実績と取組の成果	事業費
1-1 多摩区安全・安心まちづくり推進事業 【危機管理担当】	安全で安心なまちづくりを推進するため、区民・地域、警察、消防、行政が連携し、防犯、防火、交通安全、放置自転車対策等の活動に取り組む推進体制を整備し、ホームページを活用した地域安全情報の発信、パトロール支援、路面標示や巻き付け式電柱幕による広報・啓発のほか、防犯セミナーを実施する。 ■事業対象：区民 ■事業形態：全部委託 ■実施主体：多摩区安全・安心まちづくり推進協議会 ■開始時期：平成17年度	○町内会・自治会、老人クラブ、PTA等の見守り活動の促進のため、パトロール用ベスト、のぼり旗の貸与を行い、地域一体となった安全安心のための取組につなげた。 ○新入学児童・園児を交通事故から守る運動、春、夏、秋、年末の各交通安全運動期間において、地域、警察、行政が連携して交通安全及び自転車放置防止の啓発キャンペーンを実施し、区民の交通ルールの遵守やマナー違反を防止する取組を進めることで、交通安全意識の高揚と交通事故防止につなげた。 ○身近な犯罪から身を守るため多摩防犯セミナーを開催。(1/27、参加者70人) ○交通安全意識の定着を図るため交通安全教室を開催。(幼稚園、保育園、小学校で延べ94回、参加者8,694人)	予算額：1,331,000円 決算額：1,271,785円
1-2 市民防災活動支援事業 【危機管理担当】	地域防災活動の中心的役割を担う自主防災組織の育成と、区民等の防災意識の向上を図るため、防災フェア、防災セミナー、日赤救急法基礎講座を開催する。 また、各避難所運営会議に避難所運営ゲーム(HUG)を使用した訓練を導入し、地域防災力の向上を図る。 各種イベントを区民自ら行うことで、災害時に重要な自助・共助の理念が根付くことを目的とする。 ■事業対象：区民 ■事業形態：全部委託 ■実施主体：多摩区自主防災組織連絡協議会 ■開始時期：平成18年度	○災害対応能力の向上を図るため市民救急員養成講座を開催。(9/16～18日、参加者23人) ○防災意識の啓発や向上を図るため防災フェアを開催。(12/9、参加者700人) ○防災に関する知識の向上を図るため防災フェアと同日に開催防災セミナーを開催。(参加者100人)	予算額：630,000円 決算額：616,856円
1-3 自転車利用安全マナーアップ促進事業 ※区民会議関係 【危機管理担当】	スタントマンが自転車対自動車の交通事故等を再現し、受講者の視覚に恐怖感を訴えることで事故を疑似体験させる「スケアード・ストレート方式」の交通安全教室や、自転車の扱いに不慣れな小学生が交通安全標語を作成することで、児童に交通安全の意識を根付かせ、優秀作品に選定した標語を使用した看板を作成・設置することで、住民の交通安全意識の高揚を図り、交通事故防止につなげる。 ■事業対象：区内小学生、区民 ■事業形態：直営 ■実施主体：区役所危機管理担当 ■開始時期：平成25年度	○スタントマンが交通事故や、自転車のマナー違反による恐怖感を受講者の視覚に訴える交通安全教室を実施。 ・市立柘形中学校(5/13、生徒450人、地域住民50人) ・市立南菅中学校(10/19、生徒370人、地域住民34人) ・県立菅高等学校(11/17、生徒370人、地域住民20人) ○区内の小学校へ交通安全標語を募集。応募2,086件(1,132名)区長賞の表彰を実施。(12/22) ○優秀な標語を区のホームページへの掲載や、看板(電柱幕)として作成し効果的な場所に設置した。	予算額：1,283,000円 決算額：1,225,563円
1-4 多摩区危機管理事業 【危機管理担当】	災害による区内の被害を軽減するため、多摩区防災連絡会議を通して、関係機関との取組の強化と情報の共有を図り、区民の防災意識と能力向上のため、若い世代への訓練を関係機関と連携を図り推進する。 また、災害時に対応の拠点となる区本部や避難所等において、的確で迅速な災害対応を行うために、職員向け訓練の実施やマニュアルの整備、必要な備品等を整備し、区全体の危機管理機能の向上を目指す。 ■事業対象：区民 ■事業形態：直営 ■実施主体：区役所危機管理担当 ■開始時期：平成25年度	○災害時に区本部で使用する備品、装備品を整備。 ○区役所職員及び組織としての災害対応能力の向上を図る訓練を実施。 ・情報伝達訓練(9/15)・徒歩参集訓練(9月中) ・区本部訓練(1/15) ○多摩区防災連絡会議及び医療部会を開催。(7/22、11/25) ○避難所運営会議で、避難所運営訓練を実施。 (稲田中学校、柘形中学校、長尾小学校、生田小、稲田小、南菅中、南菅小、西菅小、南生田中、生田小、登戸小、中野島中、南菅小) ○議避難所運営ゲーム(HUG)を実施。(菅中学校避難所運営会) ○災害図上訓練(DIG)を実施。(柘形中学校)	予算額：1,739,000円 決算額：1,630,654円
1-5 多摩区動物愛護推進事業 【衛生課】	学校・地域・家庭へ動物愛護思想を浸透させ、動物の飼養上発生する様々な問題解決へと繋げることにより、人と動物の調和のとれた共生社会の実現を図る。 (1)「いのちの授業」の実施。 (2)「どうぶつ愛護フェア in たま区」「動物愛護パネル展」の開催。 (3)動物愛護・適正飼養のための講習会の開催。 ■事業対象：区民 ■事業形態：直営 ■実施主体：区役所衛生課 ■開始時期：平成27年度	○多摩区内小学校3校(長尾小学校、東菅小学校、三田小学校)にて、心音拡大器を使用し、いのちの大切さを学ぶ「いのちの授業」を実施。 全7クラス、計227人 ○動物愛護思想の普及啓発のため「どうぶつ愛護フェア in たま区」「動物愛護パネル展」を開催。 (9/5、参加者300人) ○高齢ペットとの暮らし方と終生飼養に関する知識の普及のため、フェアと同日にペットの適正飼養セミナーを開催。(参加者62人)	予算額：170,000円 決算額：151,454円

Ⅱ 地域福祉・健康づくり事業費

予算額 3,007,000円(当初予算額 2,920,000円)

決算額 2,191,014円

事業名【担当課】	事業概要	実績と取組の成果	事業費
2-1 パサージュ・たま開催事業 【地域保健福祉課】	障害福祉に関する理解と関心を深めるため、年11回、区役所総合庁舎1階アトリウムで開催。障害に関する活動をしている団体・作業所等が運営を担当し、活動紹介、普及啓発活動、相談コーナー、作業実演、展示等を行う。 また、広報については、区ホームページやチラシ等により開催日を周知し、広く参加を呼び掛けている。 ■事業対象：区内障害者施設とその利用者及び区民 ■事業形態：直営 ■実施主体：区役所地域保健福祉課 ■開始時期：平成20年度	○障害に関する活動をしている団体・作業所等が、活動紹介、普及啓発活動、相談コーナー、作業実演、展示等を、年11回、区役所総合庁舎1階アトリウムで開催。 同じ地域に住む住民と障害者がお互いに関心を持ち、理解し合うことは、充実した生活を送る上で重要であるが、障害者施設及び作業所が普及啓発活動を行える場はごく限られている。「パサージュ・たま」は、区民の多くが利用する区役所総合庁舎のアトリウムを活用し、障害者自身と多くの人々が直接関わり合える場を提供している。 また、定期的実施することで、区民に対する周知も図られ、「パサージュ・たま」を目的に来庁される方もいる。	予算額：117,000円 決算額：103,321円
2-2 健康づくり推進事業 【地域保健福祉課】	多摩区の地域資源を活かした特色ある事業を実施することで、幅広い世代の交流促進と、健康づくり及び食育に対する普及啓発を行う。 (1)体験イベントの実施 (2)区民向けの講演会の実施 (3)普及啓発パンフレット、ガイドブックの作成 ■事業対象：区民 ■事業形態：直営 ■実施主体：区役所地域保健福祉課 ■開始時期：平成20年度	○健康フェスタ2015を実施。健康づくり・介護予防活動を行う市民団体が中心の実行委員会方式で実施し、区民に向けた健康・福祉に関する普及啓発や世代間交流及び地域包括ケアシステム構築の推進、団体同士の交流を図った。(9/26(土)、参加357人) ○地産地消体験イベント(里芋掘りと芋煮会)を実施。小学生親子を対象に、町会等地域関係団体と協働で区内農業生産者やボランティアの協力を得て実施した。食育や農業体験を通して世代間交流も実施した。(10/31(土)、参加28組81人) ○食育講演会を実施。同時に食育交流会を行い、区内の食育実践団体や個人の活動報告や交流を行った。(2/25(木)、参加者25人) ○中学校5校で食育講演会を行った。 また、食育ガイドブックを作成し、区内全中学校の1年生に配布した。 ○健康づくり推進事業への参加促進及びセルフケアの啓発を目的としたパンフレットを作成し、10,000部配布した。	予算額：1,207,000円 決算額：732,354円 流用額：82,000円
2-3 精神保健普及啓発事業 【高齢・障害課】	多摩区精神保健福祉に関する課題の解決に向けて、地域が抱える問題をテーマにした講演会を開催するなどして、精神保健福祉の普及啓発を進めていく。 また、支援者に対して学習会等を実施し、支援技術の底上げを図る。 さらに、多摩区精神保健福祉に携わる関係機関のネットワークの一層の構築にも取り組む。 ■事業対象：区内の精神障害者とその支援者 ■事業形態：全部委託 ■実施主体：多摩区精神保健福祉連絡会議 ■開始時期：平成20年度	「子どものメンタルヘルス」をテーマに、精神保健福祉連絡会議(年5回)において講演会を企画し、「子どもたちのメンタルヘルスを考える」と題した講演会を開催した。(3月、参加者118人)講演会には、児童の保護者が多く参加され、子どものメンタルヘルスについての関心の大きさがうかがえた。 広報活動としては、2月に講演会の開催告知を小・中学校の全家庭・生徒及び関係機関に16100部配布し、講演会の開催通知の裏面には、子どもの相談機関の情報を掲載して配布したことで、より多くの区民に対して、精神保健福祉の普及啓発を行うことができた。	予算額：173,000円 決算額：156,771円
2-4 地域福祉ネットワークづくり事業 【地域保健福祉課】	地域福祉に関する機関や組織が集まり、互いの活動を知り顔つなぎを行うことで、今後の活発な地域福祉活動を行っていくための基盤づくりを目指す。 ■事業対象：区内の福祉関連団体 ■事業形態：全部委託 ■実施主体：区役所地域保健福祉課 ■開始時期：平成24年度	○地域住民同士や地域団体が、防災を通してつながるイベント「防災ウォーク」を実施し、懇談会を兼ねた事例報告会やパネル展示を通じて、地域のつながり・支え合いに大切さを確認し、今後の更なる活発な地域福祉活動を行っていくための基盤づくりを行った。 ・防災ウォーク(11/14、地域住民40人) ・事例報告会 多摩区役所(12/2、27人)、生田出張所(12/10、30人) ○増加する認知症への理解を深め、認知症になっても住み慣れた地域で自分らしく暮らすことができる地域づくりを推進するため、小学校高学年を対象とした、認知症サポーター養成講座を実施。 ・東菅小学校(8/27、67人)・中野島小学校(11/25、156人)・三田小学校(2/12、101人)・下布田小学校(12/16、78人)・生田小学校(12/21、83人)・菅小学校(1/29、142人)・稲田小学校(2/24、156人) ○地域の多様なニーズに対応するために、行政・関係機関・地域住民と連携し、地域福祉の推進を図ることが求められており、これらの担い手として期待されるシニア世代の培った経験・知見を活かし、地域活動への参画を促進するため、リーフレット作成・配布する。 800部作成/配布	予算額：1,114,000円 決算額：889,568円 流用額：5,000円
2-5 多摩ふれあいまつり15周年記念実施事業 【生涯学習支援課】	障害のある人への理解と福祉活動に対する理解を深め、ともに生きる地域社会の実現を目指すため、関係者、支援団体、市民が連携して開催している「多摩ふれあいまつり」の15周年を記念し、障害者福祉へのさらなる理解向上を目的として、「多摩ふれあいまつり」においてコンサートを開催する。各障害者施設及び団体の活動紹介や、自主製品の展示・販売、大ホールでのダンスや演奏発表を行う。 ■事業対象：区民 ■事業形態：全部委託 ■実施主体：たまわかくさ(多摩区当事者・ボランティア連絡会) ■開始時期：平成12年度	○東京交響楽団のメンバーによる弦楽四重奏コンサートを実施(参加者800名) 川崎市とフランチャイズ提携を交わした東京交響楽団のメンバーによるコンサートを大ホールにて開催し、多くの方が来場した。「多摩ふれあいまつり」と同時実施することにより、障害のある人(当事者)、関係者・団体と市民が出会い、ふれあい、学び合いながら障害のある人への理解と福祉活動に対する理解を深める場となっている。	予算額：309,000円 決算額：309,000円

Ⅲ 総合的なこども支援事業費

予算額 12,463,000円(当初予算額 12,640,000円)

決算額 11,232,926円

事業名【担当課】	事業概要	実績と取組の成果	事業費
3-1 多摩区こども総合支援連携事業 【こども支援室】	地域の子育て支援団体や関係機関等と「多摩区こども総合支援連携会議」を開催し、区内の子育てに係る実態調査の分析から課題の共有や取組の方向性について検討等を行い、地域全体での合意形成の上策定した「たまっ子プラン」に基づき、地域と行政が役割分担をしながら課題解決に向けた取組を推進し、安心して子育てができる地域づくりを推進する。 ■事業対象：区内の子育て支援関係機関・団体・グループ ■事業形態：一部委託 ■実施主体：区役所こども支援室 ■開始時期：平成17年度	○連携会議4回(臨時会1回含む)、庁内関係部署による検討会議2回、地域会議を3地区で実施。 ○区内の子育て支援事業の取組みの広報・アピール。 ○区内の子育て支援事業の進行管理。 地域の子育て支援活動団体や関係機関・行政が、区の子育ての課題を共有し、「多摩区こども支援基本方針」に基づき、地域と行政が役割分担をしながら、地域全体で課題解決に向けた子育て支援に取り組む地域づくりの推進につながった。	予算額：1,544,000円 決算額：1,500,985円 流用額：-17,000円
3-2 多摩区幼・保・小連携事業 【こども支援室】	子どもの育ちや一人ひとりの子どもの成長を一体的に支援するために、区内の幼稚園・保育所等・小学校が連携を図り、連絡会の開催や保育実習研修等の実施により支援体制づくりを進める。 また、区内の幼稚園・保育所等・小学校の教職員が相互に理解を深め、幼児・児童に関する諸課題等について話し合い、情報共有や交流を行いながら相互協力・連携を進める。 ■事業対象：区内の幼稚園・保育園・小学校 ■事業形態：直営 ■実施主体：区役所こども支援室 ■開始時期：平成18年度	○日常交流の推進。(園児、児童対象) ○授業参観、行事参観、懇談会の実施。(職員) ○実務担当者連絡会議開催(年2回)、園長・校長連絡会議開催(年1回)、代表者連絡会(年1回) ○保育実習研修の実施(夏期休業中他) ○ちらし「生活リズムをつくりましょう」の作成、配布。 平成23年度(70施設)から参加対象を区内の全ての幼稚園・保育所等・小学校(小規模保育園、私立小学校を含む83施設)とし事業を実施し、地域における連携のさらなる充実を図ることができた。 また、保育実習研修について小学校教諭のみならず幼稚園教諭、保育士が互いの保育現場を見合う機会を設置したことで、就学前の子どもや教育・保育内容の理解等について、関心・必要性の高さを確認するとともに、さらなる連携の在り方についても考えを深める機会となった。	予算額：298,000円 決算額：172,370円
3-3 公立保育所の地域支援推進事業 【こども支援室】	多摩区公立保育所の人材やノウハウを活かし、就学前児童とその保護者を対象に、子どもの健やかな成長促進及び育児に関する悩みや不安を解消するための事業を展開し、さらなる民間保育所等との交流・連携・支援機能の強化を図り、適切な人材育成事業のもと、区内保育所等の保育の質の向上を早急に図る。 (1)地域の子育て支援事業 ・保育体験・発達相談支援コーディネーターを中心とした子どもの発達に関する相談・プール開放、水遊びの提供 (2)区内保育所等職員への人材育成事業 ・研修等(職員の保育見学及び交流研修、区内保育所等職員のスキルアップ研修) ■事業対象：区内の子育て中の親子、認可保育所と認可外保育施設の保育士・園児 ■事業形態：直営 ■実施主体：区役所こども支援室 ■開始時期：平成23年度	○「親子でランチ」(食事付き保育体験)の実施。(年60回各回2組、参加者229人) ○保育連続講座(栄養士・保育士・看護師)の実施。(計3回、延べ参加者77人) ○人材育成研修の実施。(スキルアップ研修年5回、参加者482人)(その他年6回、参加者156人) ○「おいでよ!たまっ子」～あおぞら保育～の実施。(全30回、参加者940人) ○「川崎献立 作って食べよう!」の実施。(全3回、参加者35人) 事業計画に基づき、引き続き区内公立保育所センターランチ園3園で食事提供付き保育体験を実施した。子育て支援のキーワードとなる父親の育児参加促進への取組を各園で企画し、園の持ち味を活かした講座を実施。特に、調理のデモンストレーション付き講座は人気があり、食への意識や高いニーズが伺えた。 人材育成においては、現在の保育行政の動向や緊急性のある保育課題や保育所におけるニーズに対応した研修を計32回実施した。	予算額：963,000円 決算額：753,989円 流用額：-3,000円
3-4 こども・子育て講演会等事業 【こども支援室】	○自我が芽生え、子どもの発達やしつけ等子育ての不安やストレスが増えて来る概ね2～3歳までの家庭で保育している親を対象に、育児や父親参加等子育てについての学習、相談、交流の機会を提供し、子育て力を養えるよう支援する。 ○子育て支援者を対象とした各種研修や地域全体に向けての子育てへの理解を深めてもらう普及啓発、親を対象とした子どもに関する講座や子育て不安及びストレスの軽減を図る催し等を実施する他、多摩区こども総合支援連携会議等で出された地域課題をテーマにした事業等を実施する。 ■事業対象：区内の親子・子どもに関わる機関 ■事業形態：直営、一部委託 ■実施主体：区役所こども支援室 ■開始時期：平成20年度	○概ね2～3歳児の親子を対象に、新たな公立保育所の地域子育て支援事業として、春・秋2コースに分け3施設を会場として実施した。 ・土淵保育園 春：14組、秋：15組 ・生田保育園 春：8組、秋：0組 ・生田中学校特別創作活動センター 春：9組、秋：6組 各コース全6回のうち、3回は合同にて市民館等で各回とも土曜日に実施した。 ○「障がい児の子育て支援に想う」(3/8 参加者43人) ○「親子のふれあい遊び」(3/18 参加者41人) 発達障害や子育て不安や虐待等、意識調査でニーズの高いテーマを設定し講演会等を開催した。 発達障害に関しては、保護者の体験談を通して様々な支援の在り方を学ぶことができた。	予算額：1,844,000円 決算額：1,076,682円 流用額：-76,000円

事業名【担当課】	事業概要	実績と取組の成果	事業費
3-5 親と子の集いの場づくり事業 【こども支援室】	家庭で保育している就学前の親子を主な対象に、親の育児不安やストレスの軽減及び親同士の交流・仲間作り・子育てネットワーク作りを目的とし、不特定多数の未就学児親子が気軽に参加し集う場の提供や子育て情報の提供など、子どもが安全に遊べる環境整備を行い、地域の子育て支援環境の充実を図る。 (1)多摩区「ママとあそぼうパパもね」事業 (2)多摩区子育て安全マット・玩具貸し出し事業 ■事業対象：区内における乳幼児と保護者 ■事業形態：直営 ■実施主体：区役所こども支援室 ■開始時期：平成19年度	○親子のふれあい、子どもに関わる身近な相談・情報を提供。また、歌や手遊び、体操、お誕生会等の催しを実施。区内4地区にて毎月1回(8・9月除く) ・登戸地区(すかいきっず)・生田地区(生田道院)・中野島地区(中野島こども文化センター) ・菅地区(菅こども文化センター・6,7月は地域子育て支援センター宙) 9月「たまたま子育てまつり」に参加。(参加者890人) 3月「親子ミニコンサート」を開催。(参加者302人) ○「ママとあそぼうパパもね情報」「子育てワンポイント」等の子育て情報提供をホームページで随時発信 ○公立保育園5園の地域支援担当者会議を開催。(年12回) ○主催・共催者の連絡会を開催。(年2回) ○安全マット・玩具貸し出しを行い、地域子育て支援事業への環境を整備すると共に定期的に点検を実施 年間の参加者数は約2165名。地区により参加利用の増減が見られるが、市政日より等で広報した結果、全体的には利用が増えた。	予算額：550,000円 決算額：402,997円 流用額：-73,000円
3-6 子育て支援者養成事業 【こども支援室】	少子化・核家族化、人間関係の希薄化等が進む中で、子育てに不安や孤立感をもつ保護者が増えている。虐待の未然防止の一環として、安心して子育てを楽しめる環境づくりのため、地域ぐるみで子ども・子育てを見守り、支援する体制の整備が必要となっている。 地域の様々な子育て支援活動に携わる支援者の養成を目的として、公募で子育て支援に関心のある人に講座を開催し、学習機会の提供や、区内の子育て支援活動の紹介及び体験実習、情報提供等を行う。 ■事業対象：区民 ■事業形態：全部委託 ■実施主体：NPO法人ままとんきっず ■開始時期：平成20年度	○講義の実施。(15回) ○実習の実施。(8回、参加者計20人) アンケート結果については、受講内容に対し概ね好評であった。今後の活動につながった人は12人で活動率60%となっている。講座終了後も情報提供や相談にあたる。	予算額：989,000円 決算額：979,595円 流用額：-8,000円
3-7 多摩区子育て支援パスポート事業 【こども支援室】	区内の妊娠中から18歳未満の子どもがいる家庭への支援として、多摩区商店街連合会と協働で、経済的負担の軽減や、声かけ・見守りによる地域コミュニケーションの向上による、子育て支援を行う。 対象家庭に対し、希望に応じて子育て支援パスポートカードを交付し、協賛店でカードを提示することで各店独自の特典等のサービスを受けられる。その仕組みを推進するための、カード発行、手続き案内、協賛店の取りまとめ、普及のためのPR活動を行う。 ■事業対象：妊婦及び0歳から18歳までの子どもを持つ家庭 ■事業形態：全部委託 ■実施主体：多摩区商店街連合会 ■開始時期：平成19年度	○パスポートの発行の推進。(2,750枚発行) ○商店街連合会との子育てイベントの共催、事業の協力。 ○パンフレットのリニューアル。 パスポートの発行やホームページでの広報などを継続的に実施し、たまたま子育てまつりにおいて、商店街連合会と協力して広報アピール事業やパスポートの発行を行った。 また、今年度は新たに商店街連合会とプロジェクトチームを立ち上げ、協賛店へのアンケート調査を実施するなど、事業目的推進のための検討を行った。	予算額：614,000円 決算額：612,256円
3-8 多摩区こども・子育て情報収集・発信事業 【こども支援室】	地域子育て情報ブックや子育て応援冊子等の作成及び配布、地域子育て情報を掲載したホームページの運営、掲示板やちらしコーナーでの情報提供などを通じて、親の育児不安の軽減及び地域子育て支援体制へ繋げる機会とするなど、子育て家庭のニーズに応じた多様な情報提供を行う。 ■事業対象：区内の妊婦～子どもを持つ家庭 ■事業形態：一部委託 ■実施主体：区役所こども支援室 ■開始時期：平成17年度	○子育て情報ブックの発行。(5,000部) ○ホームページの更新等。《子育てWEB更新年2回(他随時)》 ○ちらしコーナーでの情報提供や広報支援。(年間随時) 子育て情報ブックについては、区役所・行政サービスコーナー、子育て関連施設等で配布した。 地域子育て支援活動・事業の広報及び交流支援については、親の育児不安の軽減へ向け、アドバイスや地域の支援体制・施設を紹介する「子育て応援冊子」、地域子育て支援センターの案内ちらしを作成し、区内の子育て関連施設で配架閲覧や希望者への配布を行った。	予算額：1,658,000円 決算額：1,595,336円
3-9 多摩区こどもの外遊び事業 ※区民会議関係 【こども支援室】	生活環境や家族のあり方等の変化に伴い、子どもを取り巻く環境も大きく変化していることから、公園や広場等、周辺にある自然環境の中で子どもの想像力と社会性を培う「こどもの外遊び」を推進する。地域理解のための広報等を行うとともに、子育て支援関係団体や地域団体主催等による外遊び活動の支援及び推進を行う。 ■事業対象：区内の子どもと保護者 ■事業形態：全部委託 ■実施主体：多摩区こどもの外遊び委員会 ■開始時期：平成20年度	○外遊び事業(委員会主催及び事業協力)の実施。(3回、参加者計約390人) ○外遊びの啓発リーフレットの作成、催しにおけるPR活動。 ○外遊び普及講座(7日間)の実施。(参加者25人) 地域主体での外遊び推進を目的に、外遊びの啓発PR活動として外遊びの普及と人材の発掘を目的とした講座(ワークショップと実習)を企画・実施した。受講中から地域の外遊び活動にボランティアで参加するなど積極的な姿勢が見られた。外遊びが子どもの成長にもたらす効果を謳ったリーフレットの配布。地域外遊び活動への支援として、各地域や公園を拠点としたコミュニティづくり推進事業等にスタッフ派遣や物品貸出、広報支援等を行った。 また、前年度受講生等による地域での外遊び活動が新たに立ち上がった。	予算額：720,000円 決算額：719,935円

事業名【担当課】	事業概要	実績と取組の成果	事業費
3-10 幼児の発達支援事業 【児童家庭課】	<p>幼児に精神及び社会性の発達に遅れがある場合、育ちにくさや育てにくさがあり虐待のリスクが高く、虐待予防の観点からも支援が必要である。</p> <p>また、早い時期から周囲の理解が得られ、療育等の必要な支援や環境の調整が行われることが大切である。そのため、1歳6か月児健康診査及び3歳児健康診査後のフォローとして、グループダイナミクスを活用した事業（「プーさんキッズ」、「たま遊びの会」）と3歳児健康診査個別相談事業を実施する。</p> <p>■事業対象：児童の養育に困難さや心配を抱えている親子 ■事業形態：直営 ■実施主体：区役所保児童家庭課 ■開始時期：平成17年度</p>	<p>○1歳6か月児健康診査後のフォロー教室「プーさんキッズ」の開催。（年12回） ○3歳児健康診査後のフォロー教室「たま遊びの会」の開催。（年12回） ○3歳児健康診査併設の心理相談員による個別相談の実施。（年36回）</p> <p>心理相談員・言語聴覚士・保育士・体育指導員・保健師が連携して多方面から関わり、集団遊びの体験や親同士の交流、個別相談を実施したことで、育児不安の軽減が図れた。また、親が子どもの発達を理解し、その子に合った対応ができるように支援することができた。</p> <p>3歳児は個人差が顕著に現れる時期である。発達の遅れが疑われた場合、心理相談員による個別相談を実施したことにより、保護者が児の成長をどのように受け止めているかを十分把握し、慎重に療育を促すことができた。</p> <p>発達の偏りから育てにくさやコミュニケーションの取りにくさがある場合、虐待のリスクが高い。この事業を実施し、支援することで虐待予防に繋げることができた。</p>	予算額：1,691,000円 決算額：1,653,227円
3-11 地域子育て交流支援事業 【児童家庭課】	<p>核家族化・少子化、近隣関係の希薄さ等子育て世代を取り巻く環境の変化により、孤立化、育児力の低下、育児不安や育児負担感をもつ親が増加している。保健師が地域の方々と、子育て中の親子が気軽に集まれる場である「地域サロン」等を開催し、集団遊びやグループワークを通して子育ての楽しさを体験する。また、子育て中の親子の交流や地域住民との交流を推進する。</p> <p>■事業対象：区内の子育て中の親子 ■事業形態：直営 ■実施主体：区役所児童家庭課 ■開始時期：平成15年度</p>	<p>○地域サロン(4か所)の開催。(45回) ○育児支援グループ(4か所)の開催。(40回) ○各種健診・産後相談・予防接種(計144回)、育児相談(12回)に保育士及びボランティアを配置。</p> <p>地域サロンや育児支援グループでは、保育士やボランティアと交流することで、参加者が子育てに必要な地域情報を得ることができ、地域とのつながりを持つことができた。また、子育てを楽しんでいる経験を重ねることで、育児不安や育児負担感の軽減を図ることができた。</p> <p>保育士やボランティアを配置することで、各種健診・相談において子どもの安全の確保と相談の充実が図られた。母子保健事業の目的である乳幼児及び保護者の健康の保持増進に寄与することができた。</p>	予算額：1,300,000円 決算額：1,296,554円
3-12 たまたま子育てまつり開催事業 【生涯学習支援課】	<p>安心して子育てができる地域の環境づくりを進めるために、子育て支援団体、関係機関、行政等の協働により「子育てまつり」を開催する。親子で参加し楽しめる企画の実施、子育てサークルの活動紹介や子育て広場などの情報の発信、講演会等により、保護者に役立つ知識・技術を普及し、区民が交流できる場、体験・学びの場を総合的に提供する。</p> <p>■事業対象：子育て中の親子及び子育てに関心のある市民 ■事業形態：一部委託 ■実施主体：たまたま子育てまつり実行委員会 ■開始時期：平成15年度</p>	<p>○たまたま子育てまつりの開催。(9/20(日)、参加者約3,500人) ○リーフレット「多摩区子育て」の発行。(4,000部)</p> <p>区内在住・在学の若者からシニアまで、地域の幅広い層の実行委員やボランティアにより企画運営を行い、充実した内容となり、来場者を含め世代を超えた多くの区民が交流を深めることができた。ステージイベントや工作、交通ルールを普及啓発など、親子がともに参加して学び楽しめる有意義な企画のほか、多摩区の子育て情報を掲載したリーフレットの作成・配布、大ホールイベント等を開催した。また、地域の子育て世代に必要な情報や学びの機会を多様な手法で提供し、子育て支援に取り組んだ。オープニングから来場者が多く区民が期待を寄せる事業であり、企画参加者からも次年度以降の継続希望と高い満足度を得た。</p>	予算額：469,000円 決算額：469,000円

IV 環境まちづくり事業費

予算額 717,000円

決算額 494,683円

事業名【担当課】	事業概要	実績と取組の成果	事業費
4-1 多摩区エコロジーライフ事業 【企画課】	<p>地球規模の課題である地球温暖化の問題を解決するためには、地球全体で考え、地域でできることから対応を進めていくことが必要である。多摩区役所では、区民がエコロジー(自然環境保護、地球温暖化防止)に、家庭(日常生活・ライフ)で身近に取り組める地球温暖化防止策を紹介するなど、市民活動団体等との協働による地球温暖化緩和策を推進する。</p> <p>(1)緑のカーテン大作戦の実施。(2)リユース食器普及啓発事業の実施。 (3)小学生向けエコ関連の啓発イベントの実施。(4)地球温暖化対策パネル展の実施。 (5)エコの取組の広報。</p> <p>■事業対象：区民 ■事業形態：一部委託 ■実施主体：区役所企画課 ■開始時期：平成21年度</p>	<p>○夏休み！多摩区エコフェスタの開催。(8/5(木)、参加者約700人) ○地球温暖化防止パネル展の実施。(10回) ○緑のカーテン大作戦の実施。 ○地域イベントへのリユース食器の貸出し。(3件、2,000個)</p> <p>エコに関連したイベントの開催など、地球温暖化防止に向けた取組を地域住民・団体と協働で推進し、区民の環境意識の向上を図ることができた。区役所施設における緑のカーテン大作戦については、市民活動団体との協働により実施し、緑の保全・緑化ならびにヒートアイランド対策の取組を区民に周知することができた。</p>	<p>予算額：556,000円 決算額：457,947円</p>
4-2 水辺の愛護活動事業 【地域振興課】	<p>市内はもとより、他都市からも多くの人々が訪れる歴史的な環境資源である二ヶ領用水を育み、憩える緑豊かな水辺の空間づくりに寄与するとともに、区内の環境愛護活動を推進するため、町内会・自治会、商店街、子ども会、市民団体、学校、事業者と協働で、河川敷のごみの回収など清掃・愛護活動を実施する。</p> <p>■事業対象：区民 ■事業形態：直営 ■実施主体：区役所地域振興課 ■開始時期：平成20年度</p>	<p>○清掃活動の実施。 ・二ヶ領用水本川 9/27(日) ・二ヶ領用水宿河原線 9/27(日)、参加者約700人</p> <p>二ヶ領用水宿河原線の清掃活動については、近隣町内会自治会・各種団体と連携し、市内統一美化活動に合わせて実施した。 また、平成23年度から実施している二ヶ領用水本川の清掃活動についても、広範囲の近隣町内会自治会と連携・調整により市内統一美化活動に合わせて実施し、より良い水辺の環境を守っていくための愛護活動を推進することができた。二ヶ領用水本川の清掃活動への参加者も年々増加し、二ヶ領用水の愛護活動が区民に幅広く定着しつつある。</p>	<p>予算額：161,000円 決算額：36,736円</p>

V 地域資源活用事業費

予算額 24,939,000円 (当初予算額 25,257,000円)

決算額 22,215,791円

事業名【担当課】	事業概要	実績と取組の成果	事業費
<p>5-1 観光振興・タウンプロモーション推進事業</p> <p>【地域振興課】</p>	<p>自然や文化施設といった多摩区の豊富な地域資源を活用し、区民や多摩区観光協会をはじめとする多様な主体との協働により、区の魅力をその内外に積極的に発信し、交流人口の増加を図りながら地域の活性化につながる取組を進め、住み良い、賑わいと魅力あるまちづくりを推進する。</p> <p>■事業対象：区民、近郊都市住民 ■事業形態：全部委託 ■実施主体：区役所地域振興課、多摩区観光協会 ■開始時期：平成19年度</p>	<p>○クイズ形式のまちめぐり“リアル謎解きゲーム”の実施（参加者2988人） ○ロリータファッション愛好者による一日限りのティーパーティーとミニ撮影会をばら苑で開催（来場者50人） ○facebookや各種媒体を活用したピクニックタウン多摩区の推進 ○各種観光ポスターの作成 ○地域情報誌(ばど・タウンニュース・マイタウン等)による区内の魅力・情報発信 ○多摩区観光情報HPによる情報発信 ○観光ガイドブック、ガイドマップの整備 ○登戸ペDESTリアンデッキバナー事業 ○地域イベント出店(あじさい祭り、民家園通り商店会夏まつり、多摩区民祭、狛江市民祭り) ○都市間交流事業(千葉県南房総市、静岡県藤枝市) ○観光ボランティアガイドによる各種ツアーの実施。(ガイドツアー5回)</p> <p>大学生との協働による区内の見どころを巡るゲームの実施など、若年層や区外来訪者に区の魅力に触れてもらうイベントを開催することで、区の資源を身近に感じてもらい、新たな魅力の発見と地域交流の促進を図った。あわせて人や地域がピクニックでつながる「ピクニックタウン多摩区」の浸透を図り、誰もが住んでみたい・住み続けたいまちと思えるまちづくりの推進を図った。</p> <p>多摩区観光協会との協働により観光ガイドブックやガイドマップの発行、HP「多摩区見どころガイド」の更新等による広報・宣伝活動や、地域イベント・行事への出展、広報支援といった取組を実施し、区の内外に多摩区の魅力を発信した。さらに、多摩区の交流都市である千葉県南房総市や、狛江市等の近隣都市において、それぞれのイベントに出展しPR活動を行った。</p>	<p>予算額：13,859,000円 決算額：13,261,349円</p>
<p>5-2 音楽による区の魅力発信・地域交流創出事業</p> <p>【地域振興課】</p>	<p>市の重要施策である「音楽のまち・かわさき」を多摩区でも推進することで、区民が音楽芸術に身近に触れる機会を提供するとともに、多摩区での地域資源を活用して地域への関心や愛着の醸成を図ることができる。また音楽を通じて、区民や音楽家同士の連携による地域交流の促進や、地域の活性化を推進する。</p> <p>(1)「生田緑地★星空コンサート」の開催 (2)「たま音楽祭」の開催 (3)「たまアトリウムコンサート」の開催</p> <p>■事業対象：区民 ■事業形態：全部委託 ■実施主体：区役所地域振興課 ■開始時期：平成16年度</p>	<p>○生田緑地★星空コンサートの開催。(9/22(火祝)、生田緑地来場者約7,700人) ○たま音楽祭の開催。(12/5(土)、来場者約2,000人) ○たまアトリウムコンサートの開催。(5月、8月、11月、2月の第3水曜日開催、来場者5月、8月、11月は約160人、2月は会場の変更により900人)</p> <p>区民に音楽芸術に身近に触れる機会を提供し、区の魅力をアピールすることができた。たまアトリウムコンサートは、2月に50回目を迎え、会場を変更し、時間や出演者数を増やすなど内容を拡大し開催した。たま音楽祭は、実行委員会形式による区民発意の企画運営を行った。生田緑地★星空コンサートは、生田緑地の指定管理者や関係施設、企業と連携し、生田緑地の魅力を広く発信するとともに、区民の身近な場所で良質な音楽と憩いの場を提供した。</p>	<p>予算額：3,531,000円 決算額：3,495,380円</p>
<p>5-3 自然体験のつどい実施事業</p> <p>【地域振興課】</p>	<p>区内の青少年をはじめ区民に、自然の豊かさや大切さを認識し、郷土への理解と愛着を深めてもらうことを目的として、ネイチャーゲーム(自然体験プログラム)や自然の材料を活かしたおもちゃづくり等の催しを生田緑地において開催し、区民が自然と触れ合い、学び、感じられる機会を提供することで、多摩区の豊かな自然環境の維持と発展に貢献する。</p> <p>■事業対象：区民 ■事業形態：全部委託 ■実施主体：自然体験のつどい実行委員会 ■開始時期：平成2年度</p>	<p>○実行委員会会議の開催。(4回) ○自然体験のつどいの開催。(9/23(水祝)生田緑地中央広場および「かわさき宙と緑の科学館」において開催。来場者約1,300人)</p> <p>実行委員会を構成する関係団体をはじめ多くの団体の協力により、生田緑地の自然に関するパネル展示による学習や、自然と触れ合える体験学習であるネイチャーゲームなどを実施した。</p> <p>また、「かわさき宙と緑の科学館」と連携し、青少年が自然について、自ら調べ学ぶ機会を生み出すとともに、身近な自然を大切にすることを育むことができた。</p>	<p>予算額：850,000円 決算額：828,335円</p>

事業名【担当課】	事業概要	実績と取組の成果	事業費
5-4 多摩川環境啓発展示事業 【地域振興課】	<p>「水と緑と学びのまち・多摩区」の象徴ともいえる「多摩川」に生息する淡水魚等を飼育管理し、区民が自然や生物に身近に親しむ機会を提供するとともに、多摩川への愛着を深め、環境意識を啓発する。</p> <p>■事業対象：区民 ■事業形態：全部委託 ■実施主体：区役所地域振興課 ■開始時期：平成2年度</p>	<p>○多摩川に生息する淡水魚等を飼育管理し、多摩川を身近に親しむ機会を提供。 ○単なる水槽ではなく、多摩川のことを知り愛着を深めてもらうツールとして展示。</p> <p>年間を通じて来庁した区民が身近に鑑賞できる場を提供し、庁舎内に憩いの場を創出することで、多摩川への愛着・関心、郷土への思いを深めてもらうとともに、自然環境への意識啓発を図ることができた。 また、展示物についても四季に応じたパネルの変更等を行った。</p>	<p>予算額：779,000円 決算額：777,600円</p>
5-5 多摩区・3大学連携事業 【企画課】	<p>区内に3つの大学(専修大学・明治大学・日本女子大学)が立地するという地域特性を活かした魅力あるまちづくりを推進するため、大学と地域の交流・連携を図るとともに、地域の様々な課題の解決に向けて、大学の研究と連携した取組を実施する。 (1)多摩区役所と区内3大学で構成する「多摩区・3大学連携協議会(平成17年12月設立)」の定例開催 (2)地域課題解決事業(3大学連携事業)の実施 (3)「多摩区3大学コンサート」の実施 (4)インターンシップの実施 (5)区民祭での地域貢献 (6)「生田緑地エントランススポット」の維持管理</p> <p>■事業対象：専修大学、明治大学、日本女子大学及び区民 ■事業形態：一部委託 ■実施主体：多摩区・3大学連携協議会 ■開始時期：平成18年度</p>	<p>○各大学と連携した地域課題解決事業の実施。 ○コンサートや駅伝を活用したイベントの実施。 ○協定締結10周年記念事業の実施。</p> <p>地域課題解決事業として、明治大学「地域社会と大学が取り組むコミュニティ交流の促進」を実施し、3月25日に実施した「大学・地域連携事業」報告会にて取組を広く区民へ周知した。 11月28日に開催した多摩区3大学コンサートでは、約420人の来場者数があった。また、協定締結10周年記念として各種事業を展開し、記念誌の発行(2,500部)、3大学の学長及び市長によるトップ懇談会(9月28日)、3大学知的探訪(参加者数…専修大学:約80人、明治大学:約201人、日本女子大学:45人)などを実施した。その他、駅伝の応援イベント、インターンシップ(6人)等、大学と協力した様々な事業を行った。</p>	<p>予算額：2,729,000円 決算額：1,979,520円</p>
5-6 多摩区スポーツフェスタ事業 【地域振興課】	<p>地域のスポーツ推進を目的として、誰もが参加でき、気軽にスポーツを楽しむことができるスポーツ行事「多摩区スポーツフェスタ」を開催する。 川崎市多摩スポーツセンター等を会場として、スポーツに親しむ機会の提供と優れたスポーツ選手との交流を通じて、地域のスポーツ活動の促進を図るとともに、スポーツセンターをはじめスポーツ推進委員会や総合型スポーツクラブなどの各種団体との連携や区民同士の交流を図り、スポーツを通じたまちづくりを進めることを目的とする。</p> <p>■事業対象：区民 ■事業形態：全部委託 ■実施主体：多摩区スポーツフェスタ実行委員会 ■開始時期：平成25年度</p>	<p>○多摩区スポーツフェスタの開催。(3/13(日)、来場者延べ2,274人) ○多摩区スポーツフェスタ実行委員会の開催。《7回(うち運営部会1回)》</p> <p>川崎市多摩スポーツセンターと周辺小中学校の施設を活用し、スポーツ推進委員会や総合型地域スポーツクラブなどの地域スポーツ関係団体と連携して、本市や区にゆかりのあるプロスポーツチームなどによるスポーツ教室やスポーツ体験など合計24種目27体験教室を実施した。 特にオリンピックメダリストによる水泳教室や障害者スポーツ体験(ボッチャ、フライングディスク)を目玉種目として実施し、区民が1日様々なスポーツに親しみ楽しむことができる事業を実施することができた。</p>	<p>予算額：1,500,000円 決算額：1,350,347円</p>
5-7 登戸・向ヶ丘遊園駅周辺地区賑わい継承事業 【企画課】	<p>市制100周年や区画整理事業完了を見据え、登戸地区区画整理事業推進中の「今」しかできない取組として、刻々と移り変わるまちの姿を記録する。景観が大きく変化する地区は、定点撮影し記録する。過去の写真は必要に応じてデジタルアーカイブを行う。</p> <p>■事業対象：区民 ■事業形態：全部委託 ■実施主体：区役所企画課 ■開始時期：平成26年度</p>	<p>○アーカイブのホームページ及び写真を保存するサーバーのシステムを構築。 ○定点撮影ボランティアの募集を行い、2か所での定点撮影を開始。 ○基本方針に基づき、区ホームページ等でアーカイブの写真を募集し、借用した写真をデジタル化し保存を行った。</p>	<p>予算額：1,703,000円 決算額：218,700円 流用額：-318,000円</p>
5-8 広報力アップ事業 【企画課】	<p>区の様々な情報を広く区民に周知するため、様々な広報媒体を活用し、最新かつ効果的な情報の発信を行う。 また、地域に特化した情報を発信することで、コミュニティの活性化を図る。</p> <p>■事業対象：区民 ■事業形態：全部委託 ■実施主体：区役所企画課 ■開始時期：平成25年度</p>	<p>○多摩区イベントカレンダー「たまりぼうと」の発行。(年3回、各回500部)</p> <p>地域で行われているイベント、伝統行事、市民活動等の情報を収集し、カレンダー形式で掲載したリーフレットを発行するとともに、多摩区地域ポータルサイト上に情報を掲載することにより、幅広く情報発信を行った。</p>	<p>予算額：306,000円 決算額：304,560円</p>

VI 地域コミュニティ活性化推進事業費

予算額 13,881,000円(当初予算額 13,594,000円)

決算額 11,643,008円

事業名【担当課】	事業概要	実績と取組の成果	事業費
6-1 地域コミュニティの活性化促進事業 【地域振興課】	未加入世帯の増加、役員の後継者難といった、各町内会・自治会の抱える課題を的確にとらえ、その解決のための支援策について検討、実施することにより、町内会・自治会活動の振興、地域コミュニティの活性化を図る。多摩区町会連合会や区内大学等と連携しながら、紙媒体の広報だけでなく、若年世代の利用の多いインターネット等を活用した区民への情報発信を行う。 (1)区内大学の学生と連携した、ホームページを利用した町内会・自治会活動の情報発信 (2)町内会・自治会加入促進のための広報物の作成 (3)町内会・自治会加入促進のための講演会の開催 ■事業対象：区民 ■事業形態：全部委託 ■実施主体：区役所地域振興課 ■開始時期：平成20年度	○地域コミュニティ活性化促進委員会会議の開催。 ○多摩区の町内会・自治会の活動についてホームページで紹介。 ○町内会・自治会への加入促進のためのポスター掲出・チラシ配布、独自リーフレットの作成・活用。 区内大学ゼミ生等に協力を依頼し、町内会・自治会活動にあまり参加していない若年世代の視点で、町内会・自治会の活動をホームページで紹介した。(37件) その町内会・自治会の独自の紹介欄を設けたリーフレットを作成して未加入者への案内に活用した。(2地区) 加入促進のため、ポスターを町内会・自治会の掲示板、区内公共施設、主要駅などに掲出するとともに、転入者向けのチラシの配布を行った。 町内会・自治会活動の重要性を区民に伝え、参加意欲を高めるための講演会を開催した。(2回)	予算額：1,386,000円 決算額：1,296,000円
6-2 多摩まちかど祭開催事業 【地域振興課】	区民相互のふれあいと地域の活性化を目指して、区民一人ひとりが舞台運営の担い手となるステージショーを区民祭の会場で開催し、心温かい地域コミュニティの形成に役立てる。地域に根ざしたより身近な場所で舞台公演することにより、区民に文化芸術の発信、交流、鑑賞の場を提供し、地域コミュニティの形成に役立てる。 ■事業対象：区民 ■事業形態：全部委託 ■実施主体：多摩区まちかど祭実行委員会 ■開始時期：平成3年度	○多摩まちかど祭の開催。(10/17(土)に生田緑地内で23団体(大人185人、子ども257人)が出演、参加者約60,000人) 区民公募により、大人から子どもまで幅広い層の出演者による舞台公演が実施された。伝統芸能やダンス、コーラスなどを披露する場を身近な地域に設定することで、文化・芸術の発信の場とすることができ、地域コミュニティの形成にも大きく貢献できた。	予算額：823,000円 決算額：823,000円
6-3 まちづくり推進事業 【地域振興課】	区内の市民活動団体のまちづくりに関する活動に対する支援、並びにまちづくりに関する課題の提起及びその解決のための実践を、区民が主体となって区と協働して行うことで、活動の担い手の発掘・育成に取り組みながら、他の市民活動団体では担えない中間支援的かつ公益的な役割を果たしていく。 ■事業対象：区民 ■事業形態：全部委託 ■実施主体：多摩区まちづくり協議会 ■開始時期：平成12年度	○まちの課題を解決するためのプロジェクト活動の実施。 ○まちの課題の抽出とその解決方法に関する意見交換会(たまサロン)の開催。 ○まちづくり活動発表会(まちカツ!)の開催。(2/11(木祝)、活動紹介26団体、参加者約170名) ○座学研修・視察研修(多摩★まち大学)の開催。(年6回、参加者271人) ○市民活動団体の活動紹介と交流の場(多摩★まちCafé)の開催。(年1回、3団体、参加者85人) ○広報紙の発行等、広報の充実に向けた取組の実施。(年4回発行、各回2500部) 講座プログラム「多摩★まち大学」は年6回開催し、うち1回は他都市の先進的な活動事例を学ぶ視察研修として「墨田区」や「葛飾区」「江戸川区」を訪問した。 その他、具体的な課題解決の取り組みとして、「エコ」と「情報の発信・共有」「世代間の交流とネットワーク」の3つのテーマでプロジェクト活動を行い、市民活動団体及び区民の情報交換や交流の場、学習の場の提供を進め、プロジェクト活動においても中間支援的な視点を取り入れた取り組みを進め、一定の成果を残すことができた。	予算額：4,600,000円 決算額：4,416,994円
6-4 市民活動支援事業 【地域振興課】	区民や市民活動団体が自発的、継続的に参加し、第三者や社会の課題解決に貢献する営利を目的としない活動の、自立と発展を支援するために、印刷や資料づくり等に必要な備品等を備えた「多摩区民活動・交流センター」を多摩区総合庁舎及び生田出張所に設置し、登録した団体及び個人に対し、利用開放する。運営にあたっては、利用受付業務等を区民活動・交流センターの利用団体を主体とする運営委員会と協働で行い、団体間の交流と相互支援を促進する。 ■事業対象：区内で活動する市民活動団体 ■事業形態：直営 ■実施主体：区役所地域振興課、多摩区民活動・交流センター運営委員会 ■開始時期：平成13年度	市民による自主的かつ自立的な管理運営を実践するため、利用登録団体からなる「多摩区民活動・交流センター運営委員会」を設置し、多摩区民活動・交流センターの管理運営について協議・検討を行うとともに、利用登録団体同士の情報交換・交流を図り、市民活動の拡大・発展を図るため、団体間の交流を促す事業を実施した。 平成27年度末時点利用登録団体 162団体	予算額：2,162,000円 決算額：2,121,348円

事業名【担当課】	事業概要	実績と取組の成果	事業費
6-5 多摩区地域人材育成事業 【生涯学習支援課】	<p>平成 25 年度に策定して「多摩区地域人材育成基本方針」を基に地域人材の育成を進める。</p> <p>平成 27 年には、新たに市民活動等を始めようとする方を対象とした研修、すでに市民活動を行っている方のスキルアップを図る研修、市民と行政職員が一緒になって、協働による理想のまちづくりについて考える研修を行うと共に、現在、市民館で行っている生涯学習相談を拡充し、平成 29 年度から市民活動にも相談対象を拡げていくための人材養成研修を行う。また、引き続き市民活動団体や地域人材等の登録を行い、研修等も含めた事業 P R や、市民活動についての理解を深めるための広報資料を発行する。</p> <p>■事業対象：区民 ■事業形態：一部委託 ■実施主体：区役所生涯学習支援課 ■開始時期：平成 25 年度</p>	<p>○市民活動団体・地域人材等に向けた研修の実施。 ・市民活動入門研修（1/14(木)、参加者 17 人） ・市民活動スキルアップ研修（2/6(土)、参加者 7 人） ・市民活動協働研修（1/28(月)、参加者 7 人）</p> <p>○市民活動・生涯学習相談ボランティア人材養成講座（11/27(金)～1/15(金)の全 6 回、参加者延べ 29 人）</p> <p>○市民活動・生涯学習活動・市民講師等を希望する団体・地域人材の募集。（H27 新規登録：4 団体、個人 12 人）</p> <p>○広報資料の発行 多摩区市民活動人材情報ねっと vol. 3(2,000 部) vol. 4(20,000 部)</p> <p>市民活動に関する入門研修やスキルアップ研修、市民協働研修の実施を通して、地域人材の育成や市民活動の活性化、市民と行政職員との共通理解の促進を図った。また、今後、市民活動等をやってみたい方たちへの情報支援を拡充するために、ボランティア養成講座を行った。</p>	予算額：1,839,000 円 決算額：1,630,056 円
6-6 公園を拠点とした コミュニティづくり推進事業 ※区民会議関係 【道路公園センター】	<p>第 2 期多摩区区民会議(平成 20～21 年度)提言を踏まえて、公園を地域の貴重な資源として捉え、情報掲示板を設置し地域情報を発信することで、今まで以上に地域のコミュニティの拠点として活用し、高齢者のいきがづくりや子育て世代への支援策等を促進する。</p> <p>■事業対象：区民 ■事業形態：一部委託 ■実施主体：区役所企画課 ■開始時期：平成 23 年度</p>	<p>○情報掲示板設置選定委員会の開催。(8/27)</p> <p>○情報掲示板設置に向けた説明会の開催。(10/29)</p> <p>○情報掲示板の設置 情報掲示板を設置する 6 公園（平成 27 年～平成 29 年の 3 ヶ年 2 公園）を情報掲示板選定委員会により決定した。この決定を経て情報掲示板 2 基を設置した。</p>	予算額：2,784,000 円 決算額：1,068,610 円
6-7 区民祭開催経費 【地域振興課】 ※年度途中で地域課題対応事業に組 入れ	<p>区民一人ひとりが担い手となれる祭りを通して、心温かい地域コミュニティを作り、暮らしやすい快適なまちづくりを推進することを目的に区民祭を開催する。</p> <p>■事業対象：区民 ■事業形態：全部委託 ■実施主体：多摩区民祭実行委員会 ■開始時期：平成 年度</p>	<p>○多摩区民祭祭の開催。(10/17(土)に生田緑地内で 91 店舗が出店(展)、参加者約 60,000 人)</p> <p>地域に根ざした自然と文化施設のある生田緑地において、区民公募や地域活動団体の出店・展示場所を提供し、緑地内 3 施設の特別割引や広い会場を利用したアトラクション、抽選会を実施し、多くの来場者が訪れ、地域の活性化と区民の連携を深めることに一定の成果をあげた。</p>	予算額：287,000 円 決算額：287,000 円

Ⅶ 区役所サービス向上事業費

予算額 1,183,000円

決算額 912,463円

事業名【担当課】	事業概要	実績と取組の成果	事業費
7-1 窓口サービス改善推進事業 【区民課】 【総務課】	平成16年度に区民課においてISO認証取得後、市民の求める質の高い窓口サービスを継続的に維持していく必要があり、そのための窓口環境整備費用としてスタートした。現在では、区役所全体の窓口環境の改善に向け事業を展開しており、区をあげての窓口サービスの向上に資する内容となっている。 ■事業対象：多摩区総合庁舎来庁市民、区役所職員 ■事業形態：一部委託 ■実施主体：区役所区民課・総務課 ■開始時期：平成22年度	○「区役所サービス向上委員会」の活用による、各課がスクラムを組んでの区役所サービス向上の推進。 ○窓口職員の意識の向上を図るための接遇研修の実施。(3回) ○庁舎内案内表示の見直し。 ○保険年金課番号発券機の改善。 「多摩区役所サービス向上委員会」主催で接遇研修を実施し、日常の市民対応にその成果を活かすことができた。 また、保険年金課に分かりやすい番号発券機システムを導入し、窓口の利便性向上や混雑緩和に貢献することができた。 その他、組織改正によるフロア変更に伴いエレベータ内庁舎案内表示を修正した。	予算額：1,183,000円 決算額：912,463円

Ⅷ 区の新たな課題即応事業費

予算額 5,000,000円

決算額 3,427,447円

事業名【担当課】	事業概要	実績と取組の成果	事業費
8-1 区の新たな課題即応事業 【企画課】	区の機能強化の取組の一環として、年度途中に発生した新たな課題に、区長の権限で適切かつ迅速に対応を図る。 ■事業対象：区民 ■事業形態：委託、工事等 ■実施主体：区役所内各課 ■開始時期：平成26年度	区の緊急性・必要性の高い課題について、事業実施所管課と密な連携及び調整により対応した。 ○稲田堤駅周辺路上喫煙・ポイ捨て防止対策事業 ○生田緑地エントランススポット・キッズボード改修事業 ○多摩区クールシェア推進事業 ○窓口カウンター用プライバシーパネル設置事業 ○多摩区の魅力発信等事業 ○向ヶ丘遊園駅前案内表示業務 ○多摩水道橋連絡通路環境整備事業	予算額：5,000,000円 決算額：3,427,447円

IX 地域課題対応事業その他経費

予算額 4,139,000円

決算額 3,668,263円

事業名【担当課】	事業概要	実績と取組の成果	事業費
9-1 磨けば光る多摩事業 【企画課】	<p>多摩区における地域課題の解決や、安全で安心・潤いのある暮らしの実現に向けて、市民活動団体が自主的、主体的に実施する公益性の高い活動提案を募集し、選定されたものを川崎市の事業として位置付けたうえで、提案者に委託する。(委託料70万円上限×3団体)</p> <p>区民の自主的・主体的な事業を促進することで、生活者目線での身近な地域課題の解決を図るとともに、区民の地域への関心を深め、市民自治による魅力あるまちづくりを推進する。</p> <p>■事業対象：区民 ■事業形態：一部委託 ■実施主体：区役所企画課、区内で活動する市民活動団体 ■開始時期：平成18年度</p>	<p>以下の5事業が選定され、事業実施した。</p> <p>○丘の上カフェ(認知症カフェ)事業 ○地域コミュニティ活性化による子育て支援公園カフェ事業(3年目事業) ○地域課題を学ぶ多世代交流事業2(2年目事業) ○多摩川を望める道の駅「せせらぎ館」 ○いつもの道が楽しくなる街作り</p> <p>地域における課題が多様化し複雑化している中で、市民活動団体のノウハウを効果的に活用することで、各事業について多くの参加者を集め、好評を得ることができた。</p> <p>また、提案事業の審査については、公開プレゼンテーションを実施し、事業終了後に報告会を実施し評価・検証することで、事業の透明性の確保及び今後の事業を実施するうえでの改善点などの洗い出しをすることができた。</p> <p>さらに、市民活動団体と協働で実施することにより、市民活動の活性化を図り、区民と行政との協働による仕組みづくりの推進につながった。</p>	<p>予算額：2,211,000円 決算額：2,092,178円</p>
9-2 共回事務経費 【企画課】	地域課題対応事業費の共回事務経費。	地域課題対応事業で共通に必要な物品(印刷機インク等)を購入した。	<p>予算額：1,928,000円 決算額：1,576,085円</p>

I 安全・安心まちづくり事業費	予算額	5,153,000円	決算額	4,896,312円
II 地域福祉・健康づくり事業費	予算額	3,007,000円	決算額	2,191,014円
III 総合的な子ども支援事業費	予算額	12,463,000円	決算額	11,232,926円
IV 環境まちづくり事業費	予算額	717,000円	決算額	494,683円
V 地域資源活用事業費	予算額	24,939,000円	決算額	22,215,791円
VI 地域コミュニティ活性化推進事業費	予算額	13,881,000円	決算額	11,643,008円
VII 区役所サービス向上事業費	予算額	1,183,000円	決算額	912,463円
VIII 区の新たな課題即応事業費	予算額	5,000,000円	決算額	3,427,447円
IX 地域課題対応事業その他経費	予算額	4,139,000円	決算額	3,668,263円
合計	予算額	70,482,000円	決算額	60,681,907円